

報告書〔7〕分析結果及びフローシート

2. 水質試料：揮発性有機物質 (6. エチルベンゼン 7. 塩化アリル 8. 塩化ビニル)

機関コード		国際的な認証の取得 注1)	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC17025 (ガイド25) 4. なし
分析実施機関名	TEL	分析主担当者の経験年数	年
分析主担当者名		分析主担当者の実績(試料数)	検体

注1) 複数回答可

分析項目	注2) 分析結果 (µg/l)	標準偏差 (µg/l)	測定回数 (回)
エチルベンゼン			
塩化アリル			
塩化ビニル			

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

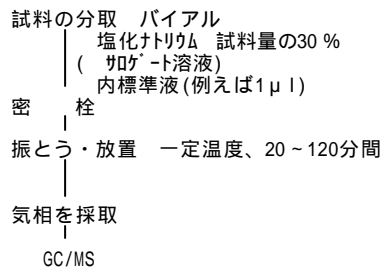
<分析法等>

分析法 注3)	1. ヘッドスペース-GC/MS 2. パージ・トラップ-GC/MS
試料量	() ml

注3) 推奨方法とおりとする。(2方法から選択する)

注2) 有効数字3桁で記入する。なお、2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。また、実施要領5(1)の希釈方法に従って調製した分析試料中の濃度を記入する。
なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受付ませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

<ヘッドスペース-GC/MS法>



<ヘッドスペース条件>

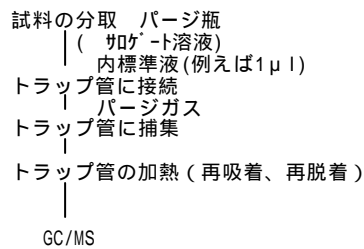
機器型式	メーカー() 型式()
添加試薬	塩化ナトリウム()g 注3)
温度と時間	温度() 時間()分
GCへの注入量	() ml

注3) 推奨方法とおりとする。(塩化ナトリウムを必ず加える)

<パージ・トラップ条件>

機器型式	メーカー() 型式()
パージ ガス条件	1. N ₂ 2. He 3. その他() 温度()、流量()ml/分 × ()分
トラップ管の充填剤	1. ホリマ(Tenax TA等)+シリカゲル+活性炭 2. ホリマ(Tenax TA等) 3. その他()
トラップ管	トラップ温度() 脱着温度()
クイオオ-加の使用	1. 使用する 2. 使用しない

<パージ・トラップ-GC/MS法>



<分析条件>

機器型式(GC)	メーカー() 型式()
機器型式(MS)	メーカー() 型式()
装置型式	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
イオン検出法	1. SIM法 2. マスクマトリクス法 3. その他()
カラム型式	メーカー() 型式()
カラム形状	内径()mm、長さ()m、膜厚()µm
カラム昇温条件	初期 温度保持 分 分 / 分 分 / 分 最終 温度保持 分
キャリアガス条件	1. N ₂ 2. He 3. その他() () ml/分
試料注入部温度	()
試料注入方法	1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

<検量線の作成等>

サロゲートの使用	1. 使用する 2. 使用しない 1. の場合: サロゲート: 種類(), 添加量() ng 注4) 種類(), 添加量() ng
定量方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 3. の場合: 内標準物質: 種類(), 添加量() ng [サロゲート及び内標準物質の種類リスト] 1. エチルベンゼン-d ₆ 2. 塩化ビニル-d ₃ 3. フルオロベンゼン 4. 4-ブロモフルオロベンゼン 5. その他()
試薬(標準原液)	配布している標準液を使用する。
標準液の調製	調製時の温度() 方法 1. あらかじめ溶媒を入れたフラスコに標準原液を入れる 2. 直接フラスコに標準原液を入れる 3. その他()

注4) 複数を使用した場合には、2種類まで記入する。

報告書〔7〕(つづき)

機関コード	
-------	--

<測定質量数及び検出下限値>

項目	質量数	検出限界 ($\mu\text{g/l}$) 注5)
エチルベンゼン		
塩化アリル		
塩化ビニル		

注5) 試料中の濃度 ($\mu\text{g/l}$) を示す。

<検量線の作成等>

項目	区分	記入欄
エチルベンゼン	検量線	作成点数 () 範囲 () ~ () 注6) 単位 1 . ng(注入量) 2 . $\mu\text{g/l}$ (濃度) 最高濃度の指示値 ()
	試料液	指示値 ()
	空試料液	指示値 ()
塩化アリル	検量線	作成点数 () 範囲 () ~ () 注6) 単位 1 . ng(注入量) 2 . $\mu\text{g/l}$ (濃度) 最高濃度の指示値 ()
	試料液	指示値 ()
	空試料液	指示値 ()
塩化ビニル	検量線	作成点数 () 範囲 () ~ () 注6) 単位 1 . ng(注入量) 2 . $\mu\text{g/l}$ (濃度) 最高濃度の指示値 ()
	試料液	指示値 ()
	空試料液	指示値 ()

注6) GC/MSに注入する量 (ng) 又は試料中の濃度 ($\mu\text{g/l}$) を示す。

<分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点>

試料液の調製について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----

<計算式>

--